



てつどういさん めぐ

MAP⑥ 鉄道遺産を巡るコース

ウォーキング距離：約4.7km



スタート① 加太駅



ゴール

加太駅は、鉄道開業6年後の明治29年(1896)に営業を開始。昭和11年3月に建築された本屋は、木造平屋建、切妻造瓦葺。木造駅舎のたたずまいと温もりを残しながら令和4年4月にリニューアルされ、憩いの場となっています。

② 猪元橋 (いのもとばし)



加太川の北側に線路を敷設するにあたり、大和街道を対岸に付け替えるために建設された国道25号の道路橋。橋脚は、鉄道構造物に準じたイギリス積みの煉瓦造になり、石材で隅部を強固に仕上げるとともに外観を引き締めます。

③ 屋淵川橋梁 (やぶちがわきょうりょう)



鋼製3連桁橋、加太地区最長の橋長59.7mを測る。最も柘植側の鈹桁(ばんげだ)は、取り付けられた銘板から、大正13年に大阪鐵工所(現在の日立造船)により八幡製鉄所の鉄材を用いて製造されたことがわかります。

⑤ 第165号架道橋



径間長2.5m。笠石を「雁木(かんぎ)」で彩り、フランス積みの胸壁には赤煉瓦とやや色の濃い焼過(やきすぎ)煉瓦を交互に配して「ポリクロミー」と呼ばれる模様を描いています。アーチ最上部に焼過煉瓦を用いて楔状に要石(かなめいし)を表現し、腰部を隅石でコントラストをつけるなど装飾性が高く、小品ながらも見どころに富んでいます。

④ 板屋川橋梁 (いたやがわきょうりょう)



鋼製2連桁橋、橋長35.4m。加太側に40フィート級、柘植側に70フィート級の鈹桁を深い谷に架ける。橋脚は、石材を「こぶ出し」に仕上げ、五角形断面の上に長方形断面を乗せて「江戸切り」の帯石で引き締め、イギリス積みの煉瓦を立ち上げる。重厚な姿が、加太地区の河川景観を整えます。

⑦ 梶ヶ坂峠 (かじがさかとうげ)



集落から西に通じる峠道は、周辺では唯一地道が残っています。

⑥ 亀山森林公園 やまびこ

市有林約4.2haを、加太の自然がそのまま活かせるような公園として平成20年度から3カ年かけて整備しました。



1.1km

800円

800円

300円

400円

300円

1.0km